

日本磁気科学会 2018 年 物理化学分科会 「界面現象や生体に関わる磁気科学」

環境やエネルギー、医療分野などにおける磁気科学は、今後更なる発展が期待されています。またこれらの分野研究では飛躍的な進歩が求められており、基礎的な知見を得る事も含めて 21 世紀における今後の我々の社会発展とも関わる重要事項と考えられます。2018 年の日本磁気科学会物理化学分科会では上記も踏まえ、界面現象や生体に関わる磁場効果に関して、4 名の演者にご講演頂く事となりました。皆様には活発なご議論をお願い申し上げます。(講演会後の懇親会にも是非ご参加下さい。)

記

主催： 日本磁気科学会

共催： 応用物理学会 磁気科学研究会

日時： 2018 年 9 月 1 日 (土) 13:00~17:00

場所： 京都大学吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟

(〒606-8501 京都市左京区吉田本町) <https://web.kyodaimap.net/building/527/>

テーマ： 界面現象や生体に関わる磁気科学

プログラム

13:05 はじめに

奥村英之 (京都大学)

13:10~14:00 「ポルフィリン化合物の光磁気化学」

石井和之 (東京大学)

14:00~14:50 「界面が介在する磁気現象—吸着, 反応, 晶出」

尾関寿美男 (信州大学)

休憩

15:10~16:00 「ナノ粒子ならびにソフトマターの磁場特性を活用した

生体分子の分離法」

岡本行広 (大阪大学)

16:00~16:50 「生体系を取り巻く多様な条件を磁場効果観測に生かす」

岩坂正和 (広島大学)

17:00 閉会

=====

懇親会： 17 時過ぎ頃より (南禅寺『順正』にて)

申込先： 奥村英之 (京大) okumura@energy.kyoto-u.ac.jp

当日参加も受け付けますが、会場・懇親会の準備の都合がありますので、8 月 25 日 (土) までにお申込み頂ければ大変助かります。